

社会科

令和6年度 東大和市立第五中学校 授業改善推進プラン

教科名

授業担当者 荻原・藤田

〇〇科における指導の重点（身に付けさせたい力） ※学習指導要領に照らし合わせて

【社会的な思考・判断・表現】

社会的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、社会的事象の意味や意義、特色や相互の関連を多面的・多角的に考察する力。社会に見られる課題を把握してその解決に向けて構想する力や、考察したことや構想したことを説明する力、それらをもとに議論する力

	生徒の学力の状況（課題）	授業における具体的な改善策 （「主体的・対話的で深い学び」における）	手だての実施時期	年度末評価（2月）
第1学年	- 基礎的・基本的な知識・技能が定着していない。 - 社会的事象に関して、興味・関心が低い。	- 毎時間、家庭学習として復習プリントを出し、授業の振り返りをさせる。 - 定期的に小テストを行い、基礎的・基本的な知識・技能の定着を図る。	- 毎時間 - 毎時間	復習プリントと小テストにより、家庭学習の習慣を身に付けさせ、知識・技能を定着させた。
第2学年	- 社会的事象に関して、興味・関心が低い。 - 自分の考えを発表することが苦手な生徒が多い。	知識構成型ジグソー法を取り入れることによって、生徒は調べる内容を自分で選択できるため主体的に取り組むことができる。また、班で学習課題について考える活動を通して、自分の考えを発表する練習ができる。	2週間ごと - 毎時間	学習の深化や知識の構成が促され、主体的・対話的な学びが活発になった。また、多様な視点を学ぶことで適応力や批判的思考力が向上し、知識の定着理宇も高まった。
第3学年	- 基礎的・基本的な知識・技能が定着していない。 - 社会的事象について、自分で考え、発表することを苦手とする生徒が多い。 - 資料の読み取り、分析を苦手とする生徒が多い。	- 定期的に小テストを行い、基礎的・基本的な知識・技能が定着を図る。 - グループ活動を取り入れた授業を行い、意見交換をさせる。 - 知識構成型ジグソー法を行い、複数の資料を読み取り考察する力を育む。	- 毎時間 - 毎月 - 毎時間	- 学習の深化や知識の構成が促され、主体的・対話的な学びが活発になった。 - グループ活動を行い多様な視点を学ぶことで思考力が向上した。 - 進度が遅く小テストを行うことができなかった。

■ICTを活用した授業における改善策

1年 }
2年 } 意見の共有など、作業の簡略化や時間短縮につながるよう活用する。
3年 }

